

施策番号	0801		
施策名	多様で活力ある中小・ベンチャー企業の育成と発展支援		
概要	中小企業の経営の安定、向上を図り、地域の経済力を高めるため、中小企業への金融支援を行うとともに、産業支援機関等による経営支援や技術・研究開発支援、人材育成など、企業ニーズに即した支援事業を推進する。		
担当局・部室	産業観光局・新産業振興室	共管局・部室	
上位政策	8 産業・商業		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市新価値創造ビジョン，京都市産業戦略ビジョン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		26年度	27年度	28年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	企業課題対応済み件数(件)	b	b	157	193	200	96.5%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	b	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度	27年度	28年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	京都では、さまざまな企業や産業の活動が互いに刺激し合って発展している。	b	b	35	162	151	66	33	447
				7.8%	36.2%	33.8%	14.8%	7.4%	
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		b	b	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 当該施策においては、企業ニーズに即した支援が重要であるため、企業課題の解決状況に係る客観指標を重視する。						27年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・企業や産業の活動は、経営者や会社員など特定の方に実感される性質が高いことからc評価になったと考えられる。なお、4割以上の方が様々な企業の発展を感じている背景には、伝統産業から先端産業に至る元気な中小、ベンチャー企業等の集積による産業連関都市の活力への評価があるものと思われる。						26年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	染色整理業者に対する上下水道料金の減免	27,141	29,746	良い	産業観光局
2	地域経済活性化支援事業	1,297	1,297	かなり良い	産業観光局
3	C S R (企業の社会的責任) の推進支援	2,466	2,734	良い	産業観光局
4	中小企業金融支援事業	65,475,208	52,169,574	かなり良い	産業観光局
5	中小企業活性化支援事業	7,375	7,145	良い	産業観光局
6	京北商工会事業助成	5,097	5,097	良い	産業観光局
7	異業種交流等連携支援事業	3,588	3,588	良い	産業観光局
8	地域プラットフォーム事業	27,724	26,394	かなり良い	産業観光局
9	京都市創業支援工場(V I F)	1,961	1,302	—	産業観光局
10	未来創造型企業支援プロジェクト	26,364	19,727	良い	産業観光局
11	中小企業創業・経営支援事業	92,454	92,153	かなり良い	産業観光局
12	中小企業パワーアッププロジェクト	39,815	31,197	かなり良い	産業観光局
13	京都クリエイティブ海外展開助成制度	4,851	4,501	良い	産業観光局
14	地域を支える中小企業の体質強化事業	13,787	0	かなり良い	産業観光局
15	中小企業海外展開支援事業	18,378	17,201	良い	産業観光局
16	企業O B人材マッチング事業	4,485	0	かなり良い	産業観光局
17	業界団体活動強化支援事業	9,129	0	普通	産業観光局
18	京都市未来創生企業成長プロジェクト	0	21,409	—	産業観光局
19	京都市中小企業未来力会議	0	13,600	—	産業観光局
20	中小企業等チャレンジ支援事業	0	23,187	—	産業観光局
21	公契約基本条例制定に向けた取組	8,382	0	—	行財政局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・未来の京都を担う有望な中小・ベンチャー企業等の発掘から育成までの一貫したハンズオン(企業と伴走し、課題解決に向けた様々な支援を実施すること)による支援策等を展開する。
 ・新たなイノベーションを生み出す中小・ベンチャー企業の新事業創出を促進するため、ビジネスプランのブラッシュアップ(磨き上げ)や資金調達、魅力ある新商品・新サービス等の販路開拓支援等、金融、経営、技術・研究開発、事業化、海外展開など総合的な支援策を展開する。

施策名	0801	多様で活力ある中小・ベンチャー企業の育成と発展支援						
指標名	企業課題対応済み件数（件）							
担当課	新産業振興室		連絡先	2 2 2 - 3 3 2 4				
1 指標の説明 経営者の課題解決を図る中小企業パワーアッププロジェクトにおいて、経営課題を発掘し、継続的なフォローを行うパワーアップコーディネーターが訪問し、企業の課題に対して対応した件数								
2 指標の意味 支援企業（訪問企業）の課題解決に向けた取組状況を示す指標			3 算出方法・出典等 出典：事業担当課調べ					
4 数値								
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	目標値				
				数値	根拠	達成度		
数値	157	193	36件増	200	これまでの実績を踏まえた目標値を設定	96.5%		
	全国順位	中長期目標			備考			
		数値	目標年次	達成度				
数値								
5 評価基準 最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			6 基準説明 当該指標については、経済状況によって課題発生数が増減するなど、外的要因によるところが比較的高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。			7 評価結果		
						26	27	28
						b	b	a